

古都祝奈良新聞

1面

「ならのまちと創る演劇」
が出来るまで

2面

インタビュ
ー
「青少年と創る演劇」
OB・OG

文章・匠夏歩
写真・秋月結衣

集 ならのまちと創る演劇

特

古都祝奈良
新 企 画 「ならのまちと創る演劇」 が出来るまで

12月26日、「ならのまちと創る演劇」がならまちセンターで開催されます。本企画は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「ならのまち」を演劇の力で盛り上げようと企画されました。本紙では、本企画がどのようにつくりあげられてきたのか、エピソード募集や今年ならではの稽古の様子などについて振り返ります。

2016年から開催されてきた奈良の学生で行われてきた「青少年と創る演劇」。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から今年度の開催はどうなるか検討が重ねられました。感染症対策による不急の外出制限、自粛要請等で奈良は暗い雰囲気、そんな雰囲気を取りたい、

奈良の街を盛り上げたいという思いから今年度は特別版「ならのまちと創る演劇」として開催する事になりました。

今回の作品のテーマは「食」。学生だけではなく大人も交え、奈良の街の人達から「食」にまつわる話を募集する事で大勢の人々と協力しながら創作する作品となりました。

初のオンライン稽古

オーディションは11月に行われ、演出家の田上さんとペレイラさん、出演者、スタッフらの顔合わせが出来たのは12月7日のZOOMによるオンライン稽古からでした。

オンライン稽古では台本読みから始まり、初めは同時に読む台詞のタイミング合わせやネットの回線の問題で声が届いていないなど、オンラインならではのの問題に苦戦しながらも作品の雰囲気を掴もうと真剣に台本読みに取り組んでいく様子が見られました。

いよいよ本稽古へ



マスク着用しながらの対面稽古

いよいよオンラインではなく全員が顔を合わせて練習できる本稽古が始まりました。

待ちに待った対面での稽古。ですが本番の日まで残された時間は多くはありません。皆このシーンの動きはどうするか、この台詞はどう読むか。全員で試行錯誤しながら少しずつ作品が作り上げられていきました。

今回は「おっぱい饅頭」「うまいものなところ」「ぜんざいマラソン」の3つの短編ストーリーを、感染症対策を徹底するため、少ない日にちや時間をグループに分け稽古をしていくので例年よりも協力し合いながら稽古をする必要がありました。

そんな日々切磋琢磨しながら作り上げた「ならのまちと創る演劇」いよいよ12月26日上演です。



稽古を重ね、いざ開演！

インタビュー「青少年と創る演劇」OB・OG

「ならのまちと創る演劇」には、「青少年と創る演劇」の過去出演者が出演者やスタッフとして参加しています。過去参加者の皆さんに本企画の面白さや演劇創作の魅力についてお話いただきました。

ならのはこぶね

（東アジア文化都市2016奈良市）出演

東和佳奈さん

「ならのまちと創る演劇」演出助手



――未経験で演劇に挑戦してみてどうでしたか？
みんなで一つの作品を作り上げたので、とても仲良く大切な仲間になれたことが素晴らしい思い出です。実際演技をしてみて、その役を声のトーンから体の動きまで細部にわたって表現することは難しかったです。

――ご家族の反応はいかがでしたか？

家族は頑張って仲間と素晴らしい作品を作ったんだねと言ってくれました。妹も何かに挑戦したいと思ってくれたらしく、翌年のならのはこぶねに出演していました！

ならのはこぶね

「古都祝奈良2017-2018」出演

小坂希空さん

「ならのまちと創る演劇」演出助手



――当時参加した時は中学生でしたが、高校生になった今、「青少年と創る演劇」から受けた影響はありますか？

当時全くの演劇未経験だったので専門用語も分からないし知らない人ばかりだし、不安な気持ちでいっぱいでしたが周りの方のサポートもあり、練習が始まるとすぐに楽しい気持ちの方が大きくなりました。

あなただったらどうするか、などと問い掛けられる事もあり、自分で考えて発言したり判断させてもらったのが嬉しかったです。

沢山の方と協力しながら自分の意見も取り入れてもらい舞台を作れたのは今の生活の中でも自信になっています。

ならのはこぶね

「古都祝奈良2018-2019」他 出演

岡山弥美さん

「ならのまちと創る演劇」出演



――岡山さんは3年間「青少年と創る演劇」に参加してきましたが、3年間出演した感想をお願いします。

3年目も参加することが出来て嬉しかったと同時に、先輩方が作り上げた役を守りつつ自分の色にできるように頑張ろうと思いました。また、自分がやってきた役のアドバイスできるように過去の台本を見返したりしました。

このプロジェクトに参加してより一層エンタメの世界で生きていきたいと思いました。

奈良の夜の夢

「古都祝奈良2019-2020」出演

ロットさん

「ならのまちと創る演劇」出演



――「奈良の夜の夢」はシェイクスピアの作品が原作でしたがこの作品をご存知でしたか？

シェイクスピアの劇を見てから稽古に挑みました。話の軸はあるものの、奈良という場所や、和の要素がはいることで変化があり、面白かったです。

――演劇に参加した感想を教えてください。

今まで自分がやってきた演劇と雰囲気が違い、新鮮でした。プロの人に演出をつけていただき、さまざまな演出に挑戦してみて自分自身が新しい要素を受け入れやすかったことに気づくことができました。そうやって作り上げたシーンが観客の方に面白いと思ってもらえるか不安でしたが、本番はとても盛り上がり、嬉しかったです。